

ひとり一人に花を楽しむ気持ちがあれば
自然とみどりは増えていきますよ。



相模原地方園芸卸売市場 ▲菅沼さん

相模原園芸地方卸売市場は、切り花や鉢物を扱う花の市場です。相模原市内の小売店はもちろんですが、切り花は山梨県や多摩、横浜などから、鉢物は長野県や遠く四国からも仕入れに來ます。小売店からの注文を受け、国内外から珍しい花や枝もの、鉢物が集まり、4000坪にも及ぶ市場は四季を通じて花々のよい香りに包まれています。「特に菊とストックが好きですね、菊は昔から作っていたものですし、ストックは香りがいいしね」と菅沼さん。花に触れる手がとても優しく、植物を大切に思う気持ちが伝わってきます。

みなさんが花を楽しむようになればいいですね。だいた前になりますが、福島県の奥只見に行ったことがあるんです。どこかしも町中が花であふれていてびっくりした。町役場も小学校も一般家庭も、とにかくあらゆるところが花でいっぱいなんです。冬は雪に閉ざされる地域だから、雪が解けてようやく花の季節がやってくる、待ってましたとばかりにみんな花を楽しんでいるんです。これだと思いましたね。これこそ私が理想とするイメージなんです。誰もかれもが花を楽しんでいる町の姿というのがね。相模原でもこのガーデンングを楽しむ家庭が増えていきます。しかも昔のように自分の家だけで楽しむのではなく、外を歩く人々の目も楽しませてくれるように植えているところが多い。おや、こんなところに花屋さんができたのかと思ってしまふような美しい庭もありますよ。

ひとり一人が花を愛する気持ちになったら、自然にみどりが増えていきます。広い場所なんていらななんです。今コンテナガーデンというのがあるでしょう。プランターでも樽でも鉢でも何でもいいんです。ほんの少し花があるだけで人の心は和むものです。さすがにいい気持ちになるものですよ。

戦争を経て花農家に。私は昭和3年に農家の次男として相模原に生まれました。農業を継ぐため相原農蚕学校（今の相原高校）に進みましたが、戦争が始まったため2年生の時に海軍に志願し、鹿屋基地での勤務の後、岩国基地で終戦を迎え、相模原に戻って農業を始めたんです。昭和21年に花農家になりチューリップやアスターなどをつくりました。当時は県が花の生産を奨励していたから、相模原はもちろんだ、三浦半島や秦野、平塚、寒川など県内で花農家が増え、アメリカ向けに切り花を出荷していたんです。

花を買う時、日本人はつぼみの多い花を選べけれどアメリカ人は開花したものを好む。面白いなあと思いましたね。でも最近では切り花の主流はアレンジメントやブーケになってきていますから、日本でも開花したものが好まれます。これも時代の流れですね。

相模原の花農家はけっこう歴史があるんですよ。今相模原には花農家が非常に少ないけれど、昭和初期の頃は相模原でもけっこう花を生産していました。当時は菊やスイートピー、カーネーション、ストックをつづっている農家が多かったと記憶しています。昭和30年頃には木造、ガラス張りの温室を作ったんです。燃料は練炭でね。練炭はガスが出るので気を

つけないで使いました。この当時は菊が主力で、ほかにチューリップの球根栽培もありました。菊の電照栽培をやったこともありましたが、県内では相模原だけでした。なつかしいですね。今でも寒川あたりに行くとき当時の温室の名残を見ることができまふ。当時、相模原で切り花を中心に花の生産をやっていたのはわずか8名だった。そして徐々に鉢物を扱う農家が増えてきたんです。当時は生産したものを横浜中央市場に出荷していました。でも鉢物は場所をとるため、市場が嫌がるんです。場所をとるからと邪魔にされ扱ってもらえずに、出荷したのを持ち帰ったこともある。これには困つてしまひましてね。そこで相模原にも花と鉢物の市場を作ろうと思ひたち、昭和43年に相模原市中央のあたりに園芸卸売市場を作ったわけなんです。当時は市内に30軒近く花農家がありました。戦前からの花農家の先駆者たちが生産指導をしてね。でも次々にやめていってしまひ、今残っているのは7軒ほどではないでしょうか。淋しい限りです。

IT革命よりすごい「花の技術革命」。時代の移り変わりとともに、花の世界もずいぶん変わりました。花というのは70%くらいが東洋の原産だと思ひます。これが西洋に渡っていき品種改良されて世界中に出回るわけです。

例えばアザレアなどはつじがアメリカで品種改良されたもの。ゴージャスなカサブランカなども実は鉄砲ゆりと山ゆりから作られたものなんです。逆に西洋から入ってきたシクラメンなどの例もあります。戦前、岐阜県中津川にドイツからタムの技師がやて来た。その時彼の妻がシクラメンの種を持ってきたんです。彼女がその種を蒔いて育て、周辺の人々にも花を分けてやり、育て方を教えたというのがシクラメンのはじまりです。今では冬の花の代名詞ともいえるくらいポピュラーなシクラメンもこうして広まっていたんです。

現代の花の世界はバイオ技術なしには語ることができなくなりました。昔は文字どおり高嶺（高嶺の花）だつたものが試験管の中であつた増えて、手軽に買えるようになった。コチョウランやシンレシウムなどがいい例でしょう。

これはまさに花の技術革命ですよ。もしかしたらIT革命よりすごいかもしれない。バイオ技術によって新しい花がどんどんできて、市場に出回り、私たちの目を楽しませてくれるわけですからね。ただ、種類が増えすぎて名前が覚えきれないのが困るんです。図鑑にも百科事典にも載つていないものがたくさんありますから。

「1本切つたら1本植える」そうすればみどりは減らない。 私たちに寿命があるように、木にも花にも寿命があります。寿命がきたら枯れていく。枯れてしまつたら切らなくては行けない。これは自然の摂理ですから仕方ないことなんです。また、木はやたらに切らない方がいいに決まっていますが、現代社会では概にそうもいかな事情がある。ですから木を切るなどとは言いません。木を1本切つたら1本植える。草花を1株取つたら1株か株は植えておく。こういう気持ちが大切だと思ひます。誰もがこの気持ちを忘れなければ絶対にみどりは減りませんからね。私が生まれ育つたこの相模原が花やみどりで美しくなっていくのがぜひ見えてみたくすね。そして美しい相模原を次世代の人たちに伝えていかなければならないと思ひます。

菅沼俊夫（すがぬま としお） 一九八八年神奈川県相模原市下溝生まれ、同在住。相模原園芸地方卸売市場会長、神奈川県花卉園芸組合連合会理事、相模原市花卉園芸組合組合長、相模原市みどりの協会理事、相模原市に初めて花を扱う園芸卸売市場を立ち上げる。以来、長年に渡り園芸業界で活躍。



▲ひそかな人気のミニ盆栽

CLEMATIS & AZISAI FAIR

5/11sat-12sun Sagamihara Asamizo Park 6/22sat-23sun Sagamihara Kita Park and Sagamihara Asamizo Park



花の集い始まります。

クレマチスフェア

5/11土・12日 相模原麻溝公園

相模原麻溝公園のフェンス1700mにわたって咲くクレマチス。その数はおよそ200種類、7000株にも及び、日本一の規模といわれます。満開に咲き誇るクレマチスとともに楽しいイベントもご用意してみなさまのご来園をお待ちしています。

アジサイフェア

6/22土・23日 相模原北公園・麻溝公園

相模原北公園と相模原麻溝公園で同時開催されるアジサイフェア。期間中は無料巡回バスが運行され、市内でもアジサイの名所といわれる両公園をゆっくり巡ることができます。梅雨空に清涼のひとつときのアジサイアーをお楽しみください。



相模原北公園

●各フェアとも会場周辺が大変混雑いたしますので、ご来園の際はバスなどの公共交通機関をご利用ください。

相模原北公園

- JR・京王橋本駅南口から六地藏経由（橋36）上大島行き又は大島経由相模原駅行き（橋35）バス「上中の原団地」徒歩3分

相模原麻溝公園・県立相模原公園

- 小田急相模大野駅から女子美術大学行きバス「総合体育館前」徒歩2分
- JR相模原駅から相武台前駅行きバス「総合体育館前」徒歩2分

ご注意

※6月22日・23日開催のアジサイフェアのみ、相模原北公園と相模原麻溝公園間の無料巡回バスを運行します。

経路

- 北公園ー麻溝公園



みどりを守り育て、みどり豊かな街を次世代へ—みどりの協会の仕事です。

窓辺や庭で、また公園や道路などで、四季折々に美しい姿を見せてくれる『みどり』。私たちの暮らしのさまざまなシーンに彩りを添えてくれたり、潤いを与えてくれるだけでなく、将来の環境にとっても欠くことのできない大切なものです。

財団法人相模原市みどりの協会は今年で設立10周年を迎えました。「第9回全国都市緑化かながわフェア・グリーンウェブ相模原 92」の開催を機に発足して以来、さまざまな緑化事業を実施してきました。今後もみどりある豊かな街づくりを推進するため、市民のみなさんと力を合わせて、今まで以上にさまざまな事業を展開していきたいと考えています。みどり豊かな街を次世代へと引き継いでいくために。

見て、触れて、理解してもらうための事業を積極的に行っています。

緑化意識の普及啓発に関する事業



■「生垣見本園」事業

生垣の良さを体感し、作る際の参考にしていたため、相模原市緑化センター内にモデル生垣(24種類)を植栽しています。

■花と植木に関する園芸相談

花や樹木への理解を深め、園芸の楽しさ、大切さを知っていただくため、地域に密着した園芸教室などを公民館との共催事業として実施します。詳細は、各公民館報などでお知らせします。

■市の花アジサイ普及事業

今年も相模原北公園と相模原麻溝公園で開催される「アジサイフェア」において、障害者地域作業所で育成されたアジサイの挿し木苗3,000株を無料配布します。

■クレマチス普及事業

200種、7千株という世界有数の植栽を誇る相模原麻溝公園のクレマチス。このクレマチスを公園の花として市民の方に一層親しんでいただくため、講習会などを通じて普及を進めています。

■「みどりの少年団」の育成

みどりを守り育て、愛する精神は、少年期から養うことが大切です。みどりに関する学習会活動、奉仕活動、レクリエーション活動などの実施を目的として平成5年に結成された「相模原市みどりの少年団」の活動を支援し、育成を図ります。

■花のふれあいサービス

市内の高齢者福祉施設に、年2回メッセージを添えた季節の花をお届けし、花とのふれあいを楽しんでもらえます。

「生垣見本園」

相模原市緑化センター内(入園無料)



市民のみなさんの力により、みどり豊かな街づくりが進められています。

都市緑化の推進に関する事業



花のまちづくり・みどりいっぱい運動

●対象 自治会、老人クラブ、子ども会、PTAなど地域の団体が公園や集会所の敷地等の公共スペースに植える場合。
花の種を蒔いて育てる、球根を植えるなどの花いっぱい運動ですので、地域のみなさんが自ら管理することが条件です。
※個人的な園芸に用いるものは、対象にはなりません。

●配布するもの 花の種・球根・苗、木の苗
●費用 無料です。
詳しくは相模原市みどりの協会まで TEL0427-777-2860

■花のまちづくり・みどりいっぱい運動
都市緑化の推進を図るため、自治会、子ども会、PTAなどを対象に花の苗、球根、苗木などを配布し、花のまちづくりを進めます。また、緑地協定締結区域において、シンボルツリーなどの苗木を植樹するための助成を行います。

■生垣設置助成事業

地域緑化活動の一環として、身近なみどりである「生垣」を新規に設置する場合に奨励金を交付します。

■フラワーロード事業

市内を南北に縦断する「横浜水道みち」で、市民のみなさんがコスモスやチューリップを育て、街の中に「花の道」を作る事業を進めます。

■「みどりのバンク」事業

樹木や草花、または種などを譲りたい方、譲り受けたい方の相互の情報を提供します。
相模原麻溝公園、相模原北公園、相模大野中央公園の管理事務所に「花とみどりのインフォメーション・ボード」を設置し、情報を提供します。

新しく「生垣」をつくる場合、助成をします。



「生垣」で環境に優しく潤いのある街づくり

生垣が作り出す「みどりの」壁は、ブロック塀にはない、潤いのある空間をつくるだけでなく、地震や火災などの災害時には延焼防止の役割も果たします。
みどりの協会では、新しく生垣を設置される方に奨励金を交付しています。この機会に生垣をつくってみませんか。

- 対象 次のすべてに該当すること。
①市内の戸建住宅(店舗併用住宅も可)又は共同住宅の用地内に新たに生垣を設置すること。
②その生垣が幅4m以上の公道に接していること。
③生垣の長さが3m以上であること。
④市民税を完納していること。

- 植栽の基準 樹木の種類は、生垣に適したもので、原則としてみどりの協会が推奨するもの、樹木の高さは90cm以上、本数は、1mあたり3本以上とする。
- 奨励金額 1mあたり5,000円で、10万円を限度額とします。ただし、共同住宅についてはお問い合わせください。
- 手続き みどりの協会、市役所みどり対策課などにある申請書に記入してみどりの協会へ(案内書もあり)。
- 添付書類等 ①植栽予定地の写真 ②市民税の納税証明書、領収書など

区分	申請日	税の対象年度
個人	4/1～9/30	前年度
	10/1～3/31	今年度
法人	全期間	直近の年度

〈ご注意〉
※新たに生垣をつくる人が対象で、つくり替えは対象になりません。
※奨励金を受けるには、事前に申請をして交付決定を受けなければなりません。
〈お問い合わせ〉相模原市みどりの協会
TEL.042-777-2860(相模原麻溝公園内)

「みどり」に関するさまざまな情報を発信しています。

機関紙その他印刷物の刊行



園芸豆図鑑Vol.14「洋ラン」

昨年度発行の豆図鑑では、園芸種としてとても身近になってきた「洋ラン」をとりあげました。ご希望の方はみどりの協会までおこしください。(相模原麻溝公園管理事務所2F)

■緑化啓発ポスターの作成

4月(春のみどりの月間)、10月(秋のみどりの月間)の2回緑化啓発ポスターを作成・掲示します。

■協会紙「グリーン」の発行

協会が実施する緑化事業の紹介や都市緑化に関する情報を掲載する機関紙を年に2回(4月・10月)発行します。

■園芸豆図鑑の発行

園芸植物の由来や育て方、品種などを解説したパンフレットを発行します。(10月中旬発行予定)

■ホームページの設置

(http://www.sagamihara-green.or.jp/) みどりの協会ではホームページを公開しています。公園の花の開花情報やイベント情報、花とみどりのインフォメーションボードなどを掲載しています。ぜひアクセスしてください。

多くの方に参加していただける、「みどり」に親しむ催しがいっぱいです。

講習会、講演会、展示会、その他催し物等の開催



■自然観察会の開催

身近な植物などを学ぶために、自然観察会を開催します。詳細は、広報さがみはらなどでお知らせします。

■親子自然観察会

今秋予定している親子自然観察会は、「ひっつき虫・どんぐり」です。10月発行のGREEN21号をごらんください。

■園芸講習会の開催

県立相模原公園「緑の相談所」との共催事業として、園芸に関する講習会を実施します。右の年間予定表をごらんください。

■公園フェアなどの開催

相模原麻溝公園、相模原北公園などでイベントを開催し、協会のPR・緑化意識の高揚を図ります。

平成14年度●園芸教室予定表

5月	19 バラ栽培 26 洋ランの植え方と年間管理	12月	1 クリスマスディスプレイ
6月	16 植物写真の撮り方	2003	
8月	18 野菜…これからの作業 23 親子自然観察会	1月	26 家庭果樹の剪定
10月	13 公園の樹木を覚えよう 27 どんぐりコロコロ	2月	16 楽しい押花(1) 23 楽しい押花(2)
11月	10 パンジーの寄せ植え 17 庭木の剪定	3月	9 山野草の株分けと植え替え

●講習日、講習内容はともに予定のため、都合により変更になることがあります。「広報さがみはら」毎月1日号に詳しくされますので、ご確認のうえお問い合わせ申し込みください。

たくさんの方により楽しく利用していただける公園・緑地の管理に努めています。

公園施設等の受託事業

- 受託公園等 ●相模原麻溝公園(スポーツ広場芝生管理業務含む) ●道保川公園 ●相模原北公園 ●相模大野中央公園 ●相模原中央緑地



相模原北公園

敷地内の雑木林を利用し、公園全体に植物園のような雰囲気を持たせた相模原北公園。一年を通してたくさんの花や野草、樹木が訪れる人の目を楽しませてくれます。今の季節、見ごろを迎えるのはアジサイやバラ、ハナショウブなど。東フロント近くの階段状庭園にはバラが花事に咲き揃い、甘い香りを漂わせます。また、麻溝公園と同時開催されるアジサイフェア(6/22・23)も見逃せません。フェア期間中は麻溝公園とを結ぶ無料巡回バスも運行されますので、両公園のアジサイをたっぷりとお楽しみください。

交通 ■JR・京王橋本駅南口から六地蔵経由(橋36)上大島行きまたは大島経由相模原駅行き(橋35)バス「上中の原団地」徒歩3分

公園の花 キショウブー道保川公園

キショウブはヨーロッパ全域や北アフリカ、中近東が原産。日本へは園芸植物として入ってきましたが、栽培されているうちに野生化し、今では各地の水辺や湿地などで多く見られるようになりました。ショウブと名がついていますが、実はアヤメ科の植物。高さは60～150cmになり、茎は3つに分岐して8cmほどの文字どおり鮮やかな黄色い花を8輪以上もつけます。園芸品種のキショウブには濃い黄色、淡い黄色のほか白色の花もあり、斑入りの葉を持つ種類もあります。湿地を好みますが、かなり乾燥したところでも育ちます。



アヤメ科 花期5月

交通 ■JR横浜線相模原駅からバス→北里大学経由各路線→「光が丘3丁目」下車徒歩5分または古山経由小田急相模大野駅行き→「七曲り下」下車徒歩5分 電車ではJR横浜線上溝駅から徒歩20分

公園においてよ



あじさいボランティア講座…受講者募集

市の花あじさいをとおして「みどりのまちづくり」に参加していただける方を募集します。手入れ方法などの基礎知識を学びながら、公園のあじさいと一緒に育ててみませんか。

■講座内容と日時

あじさいの基礎知識 挿し木の仕方(実習)	6月9日(日) 午前10時から午後3時まで
鉢上げの仕方(実習) 剪定の仕方(実習) 剪定後の管理	7月7日(日) 午前10時から午後3時まで
ボランティア実習 (公園での剪定と挿し木)	7月14日(日) 午前10時から午後3時まで

- 会 場 相模原麻溝公園
- 講 師 日本アジサイ協会 理事 秋田 宏氏
- 参加費 無料(ハサミ、カッターは各自持参)
- 定 員 20人(3回とも参加できる人)
申込み多数の場合は抽選いたします。
- 申込み 往復はがきに住所、氏名、電話番号を明記の上、5月20日(必着)までに、(財)相模原市みどりの協会「あじさいボランティア係」〒228-0828相模原市麻溝台2317-1 TEL042-777-2860